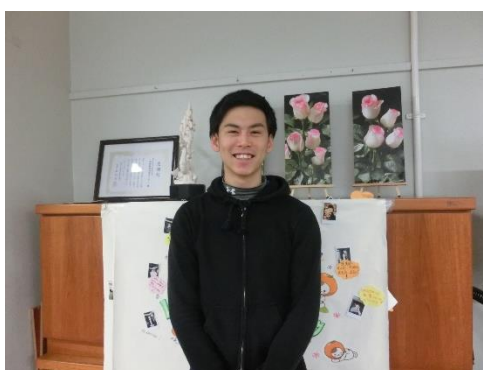


和大生が青年海外協力隊にまたまた合格しました！

2月にJICAの青年海外協力隊秋募集の応募結果が発表され、和大生が見事に合格しました！「パナマ環境教育」に合格されたのは、教育学部3年の和坂建志さんで、現役生の合格は、春募集に続く快挙です。和坂さんは、10月から派遣前研修に参加し、来年の1月から2年間、パナマに派遣される予定です。パナマからの要請では、中学校で生徒が環境に配慮した生活態度をとれるよう、環境教育を企画・実施することを期待されています。

和坂さんは海外への渡航経験はなく、パナマへの派遣が決まって初めてパスポートを作るそうです。青年海外協力隊への関心を持ったきっかけは、教育実習で出会った先生が青年海外協力隊の経験者で、現地での体験をお聞きしたり、教育現場での実践にいかされている様子を見たことです。昨年10月には、学内で行われた募集説明会に参加し、グアテマラで活動された木村嘉秀さんに最も積極的に質問していたのも和坂さんでした。

和坂さんは、「最低条件は生きて帰ってくること。現地の学校での行事として、日常に組み込まれるような活動ができればいいなと思っています。」と抱負を語ってくれました。出発まで時間がありますので、しばらくは、スペイン語や日本のことを学ぶことに取り組みたいとのことでした。和坂さんの現地からの発信や今後のご活躍を楽しみにしています。



合格を報告してくれた和坂さん

また、現在、ウガンダに野球指導のボランティアとして派遣されている土井拓哉さんが間もなく帰国されます。土井さんはウガンダとの交流を継続し、ウガンダ野球を発展させるためにも、皆さんにもご協力を得たいとお考えです。ぜひ、ご帰国後の土井さんの活動も応援してください。

2016年3月25日
国際教育研究センター